

当院のシンボルマークは、患者さまに対する「まごころ」を漢字の「心」で表現しています。

まごころ

MAGOKORO



地方独立行政法人

下関市立市民病院

SHIMONOSEKI CITY HOSPITAL

2021年 vol.33



▲泌尿器科は4月より3名での診療体制となりました。どうぞよろしくお願いいたします。

特集 泌尿器科の診療内容について

お知らせ 救急センター改修工事完了について ほか
もっと知りたい 研修医
地域の絆 池田メディカルクリニック
王司こどもクリニック

2021.6.1 下関市立市民病院広報年報委員会発行

下関市立市民病院

基本理念

安心の優しい医療を提供し、
市民から信頼される病院を目指します

基本方針

- 市民のニーズに応じた最善の医療を提供します。
- 重点診療項目として、悪性疾患、救急及び生活習慣病に取り組みます。
- 安定した健全な病院経営を目指します。



▲腎臓内科と連携して血液透析診療を行っています。（写真左より）泌尿器科 吉弘部長、藤井医長、腎臓内科 坂井副院長、吉水医長、上田研修医

特集

泌尿器科の診療内容について

泌尿器科医長

ふじい
藤井
なかのり
央法

はじめに

当院泌尿器科は2020年度までは泌尿器科部長の吉弘、藤井の2名体制で診療を行っていましたが、2021年4月より新たに原宏二医師が着任し、現在は3名体制での診療となっております。

また、日本泌尿器科学会専門医教育施設としての認定も受けており、3名とも日本泌尿器科学会の専門医資格を有しています。

今回は当院泌尿器科の診療内容について紹介したいと思います。

泌尿器科の診療内容

泌尿器科で扱う疾患は、泌尿器悪性疾患（腎臓がん、膀胱がん、前立腺がんや精巣腫瘍など）、排尿障害（頻尿、尿意切迫感、尿失禁など）、尿路結石症、尿路感染症・性感染症、慢性腎臓病など多岐にわたります。

それぞれの分野が専門性の高い領域となっております。

病気の部位的に受診することに対して羞恥心や抵抗感を感じられ、受診をためらわれる方も多いと思います。

泌尿器科診察では、着衣を脱いでの検査や痛みを伴う検査をいきなり行うことはなく、まずは問診、検尿、超音波検査や血液検査を行います。その後、必要に応じて膀胱鏡やCTなどの画像検査で精査を行っていきます。受診しづらい科であると思いますが、気軽に受診していただければ嬉しく思います。

2018年度より当科では山口大学医学部附属病院泌尿器科の協力を得て、腹腔鏡下手術を開始しています。そこで、当科で施行している腹腔鏡手術について、より詳しく紹介したいと思います。

腹腔鏡下手術

腹腔鏡下手術は、従来の開腹手術のように腹壁を大きく切開することは行わず、腹部に0.5～1cmの切開を3～4か所加えて内視鏡や手術用鉗子を挿入し、ビデオモニター下で観察しながら手術を行っていきます。

最大利点は、拡大視野で術野を観察、手術を行える点です。出血量も

開腹手術と比較して少なくなる傾向にあります。患者さまの手術侵襲が軽減されるため、術後の回復が早く、早期の社会復帰が可能となります。患者さまにも大きなメリットがある手術方法だと考えられます。

泌尿器科領域の腹腔鏡下手術は、上部尿路上皮がん、腎臓がん、前立腺がんや膀胱がんなどの泌尿器悪性腫瘍や良性疾患(先天性腎盂尿管移行部狭窄症や膀胱瘤)などが適応症となっています。

現在、当科では上部尿路上皮がん(腎盂がん、尿管がん)と腎臓がんに対して腹腔鏡下手術を施行しています。

上部尿路上皮がん

上部尿路上皮がんは、腎盂尿管の尿路上皮粘膜に発生するがんです。

症状は、膀胱がんと同様に無症候性肉眼的血尿が最も多く、がん組織や凝血塊で尿路に水腎・水尿管が生じること、腰背部痛や側腹部痛が起ることもあります。

転移がない症例においては、手術療法が第一選択で、がんの発生した腎臓と尿管をすべて摘除します。

腎がん

腎がんは腎臓の尿細管と呼ばれる部位に発生するがんです。健康診断や画像検査が普及する以前は、血尿、腹部腫瘍、側腹部痛などの症状で発見されていましたが、現在は無症状で偶発的に発見されることが多くなっています。

腎がんでは、小径腎がん(腫瘍径…4cm以下)に対して腫瘍が発生している腎臓を部分的に切除する腎部分切除を行っています。小径腎がん以外の症例に対しては、腫瘍が発生した腎臓をすべて取り除く腎摘除術を行っています。小径腎がんでも、腫瘍の部位などによっては腎摘除術を行う場合があります。

当院での治療実績

2020年度の腹腔鏡下手術は、腎盂尿管がん…4件、腎がん…2件を行いました。腎がんは2件ともに、腎摘除術でした。

年度ごとの腹腔鏡下手術件数の推移は表1になります。2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、受診患者数や入院患者数が減少する中で前年度に準ずる件数の治療実績がありました。今後、更に治療

実績が増やせるように研鑽を積んでいきたいと思えます。



表1

	2018年度	2019年度	2020年度
腹腔鏡下腎尿管全摘術	1件	3件	4件
腹腔鏡下腎摘除術	1件	4件	2件
腹腔鏡下腎部分切除術	2件	0件	0件

血液透析診療について

また、泌尿器科医師2名が血液透析診療にも関わるようになりま

した。血液透析診療については、腎臓内科医師と協力し、より良い医療を行えるように頑張りたいと思えます。

末筆になりましたが、下関地区の皆さまにより良い泌尿器科診療を提供できるように医師・スタッフともに努めてまいりますので、これからも引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

救急センター改修 工事完了について



▲救急センターでは、救急部が中心となって、医師、看護師などを対象に定期的にシミュレーションを行っています。



▲非接触でドアの開閉が可能となりました。



▲改修工事によって、救急センターの陰圧室が2室となりました。

令和2年11月24日より令和3年2月9日にかけて、新型コロナウイルス感染症対策として救急センターの改修工事が行われました。主な工事内容は、非接触で開閉できる自動扉の設置と陰圧室2室の増設です。

陰圧室とは、室内の気圧を室外より低くすることで、ウイルスなどで汚染された可能性のある空気を室外へ流出させないように調整してある部屋のことです。今回の改修工事で、発熱や原因不明の急変患者さまを救急センター内で診察する際の安全性が向上しました。また、酸素や吸引設備、内外で連絡できるモニターの設置、各種医療機器の購入により、どちらの部屋でも重症の患者さまが診察できるようになりました。

下関医療圏の二次救急指定病院、および第二種感染症指定医療機関として皆さまに安心して受診していただけるように日々努めています。

新任医師のご紹介



17名の新任医師、研修医5名あわせて22名が春から勤務しています。
どうぞよろしくお願いたします。



【腎臓内科】
医長 吉水 秋子



【消化器内科】
医師 山本 翔太



【外科】
医師 川地 眸



【外科】
医師 松本 昂



【呼吸器外科】
医長 名部 裕介



【呼吸器外科】
医長 橋本 鉄平



【脳神経外科】
医師 桶谷 英司



【整形外科】
医師 江崎 克樹



【整形外科】
医師 大崎 佑一郎



【整形外科】
医師 岸川 準



【整形外科】
医師 木戸 麻理子



【整形外科】
医師 井上 逸人



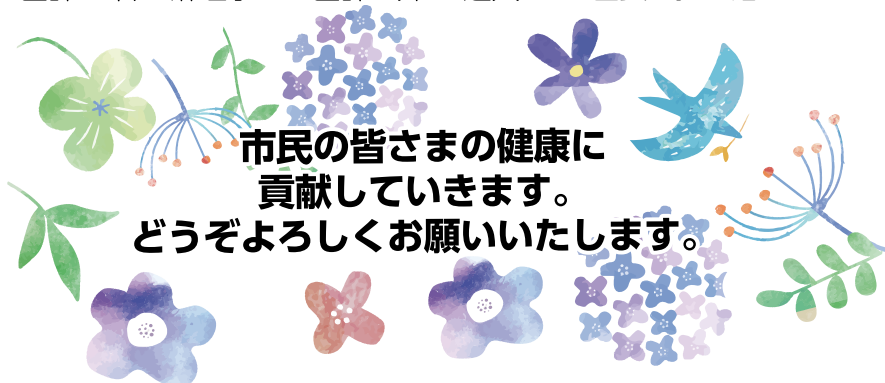
【泌尿器科】
医長 原 浩二



【小児外科】
医師 亀井 一輝



【耳鼻咽喉科】
医師 木田 裕太郎



【研修医】
上田 晃平



【研修医】
木下 将良



【研修医】
木々木 貴之



【研修医】
佐藤 義裕



【研修医】
長岡 繁



医師を目指したきっかけを教えてください。

高校生の頃に祖母が肝臓がんで亡くなったことをきっかけに医師を目指しました。もう一つは私の父と兄も医師で、その環境に影響されたことも背景にあります。両親には一言も医者になれとは言われてきませんでした。結果的に自分で選びました。

研修医としてどんなお仕事をされていますか。

上級医の先生の指導を受けながら、診療行為に当たっています。し

かしながらまだまだ不勉強で、わからないことが多いのが現状です。その都度一つ一つ事例を解決していきながら仕事をしています。日々勉強です。

仕事をしていく上で大切にしていることは何ですか？

当たり前のことではありますが、患者さまにはしっかりと敬語を使うこと、目線を合わせることをなるべく意識するようにしています。しながら自分の心に余裕がない時や慢心してしまう時などは、そのことができていないことが多々あります。



▲現在当院では1年次と2年次合わせて10名の研修医が在籍しており、日々切磋琢磨しています。

す。当たり前のことこそ意識してできるような心がけていきたいです。

休日の過ごし方や、最近ハマっていることなどを教えてください。

学生の頃から続けてきた剣道の練習を続けたのですが、時節柄、なかなか思うようにできません。休日にはもっぱら家で好きなゲームをして過ごしています。感染状況が落ち着いたら剣道も再開したいです。

当院は、医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令に定められた臨床研修指定病院です。臨床研修指定病院とは、医学部を卒業し、医師免許を取得した医師(研修医)が2年間、基本的な手技、知識を身につけるための経験を積む病院です。

また、当院は医学生・看護学生・薬学生等、医療従事者を志す学生の実習、見学を、各職種指導者の監督下において、行っております。そのため、皆さまの診療に携わることがございますが、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いたします。



緩和ケア認定
看護師
やすかわ なつえ
安川 夏江



がん性疼痛に使用するモルヒネの歴史は古く、1800年代から使用されている医療用麻薬です。芥子の実から採取される果汁を乾燥させたもので阿片といわれる無色の結晶性粉末です。

ドイツの薬剤師により初めて分解され、「夢のように痛みを取り除いてくれる」ことから、ギリシア神話に登場する夢の神モルペウス(Morpheus)にちなんで、モルフィウム(morphium)と名付けられました。

種々の痛みに対応できますが、悪心嘔吐、便秘、眠気などの副作用もあります。そのため、副作用対策をしながら使用しています。緩和ケア病棟では、患者さまらしく過ごしていただけるよう支援しています。

地域の絆

当院と連携している医療機関等を紹介します。
登録医の先生と当院とは、患者さまの病状に合わせた治療が行えるよう、密接な関係をつくっています。

下関市立市民病院 地域連携室
電話：083-224-3860 FAX：083-224-3861

池田メディカルクリニック

院長 ^{いけだ} 池田 ^{よしのり} 祥記 先生



2020年9月より前院長池田真一からクリニックを継承いたしました。これからも以前と変わらず、父が築いてきた地域密着の医療を一貫してやり遂げようと考えております。

昨年までは幅広い外科分野に加え乳腺外来なども標榜しておりましたが、継承後は私の専門である内科・消化器内科に変更となっております。高血圧や糖尿病といった生活習慣病はもちろん、胃カメラによる上部内視鏡検査も行っております。また、特定健診や健康診断の二次検診として患者様の病気の治療はもちろんですが、健康面に関する不安・心配事も解決できるように尽力していきたいと考えております。些細なことでも健康面での心配事はお気軽にご相談下さい。

今後も地域密着の病院、また下関市立市民病院の連携医療機関として地域医療に従事していきますのでよろしくお願いいたします。

〒751-0841 下関市垢田町1丁目16-33 TEL：083-254-1126 <内科・消化器内科>
月・火・水・金：9:00～12:00、14:00～18:00 木・土：9:00～12:00 (午後休診)

王司こどもクリニック

院長 ^{すえなが} 末永 ^{しんじ} 眞次 先生

下関市立中央病院（現市民病院）を辞し、王司の地で1999年10月1日から開業して21年になります。地域に根ざしたクリニックとして、急性疾患、喘息をはじめとするアレルギー疾患、予防接種、健診等々診療しています。

入院や精査の必要な小児を快く引き受けて頂き感謝しています。

さて、令和元年の年末に中国で新型肺炎が流行との情報があり、新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）が原因であり、COVID-19と名付けられ瞬く間にパンデミックとなりました。この1年間、緊急事態宣言や学校閉鎖にて生活が一変しています。

ウイルスの特性もわかり、三密対策にて抑えられていましたが、アクセルとブレーキのタイミングが難しく、経済活動に制限がかかり大打撃です。子どもは感染しにくい現状ですが、変異種の出現でどうなるかわかりません。マスク・手洗いなど感染防止対策の徹底で感染症が激減しました。インフルエンザとのツインデミックもありませんでした。小児特有の急性疾患も激減して小児科は経営的に苦労しています。ようやく、3種類のワクチンができ、わが国でも接種が始まり、効果に期待したいです。

重点医療機関である下関市立市民病院の小児病棟は昨年閉鎖され、4月から小児科の常勤医がいなくなり外来も大幅に縮小されます。小児用のベッド数が減るのはとてもつらいことです。感染症が流行しないことを祈っています。これからも感染対策をしっかりと、視点を変えてこどもの心の問題なども含めて患者さんに向き合っていきます。

〒752-0916 下関市王司上町1-8-7 TEL：083-249-1331 <小児科・アレルギー科>
月・火・水・金：8:30～12:30、14:00～18:00 木：8:30～12:30 (午後休診) 土：8:30～12:30、14:00～16:00



外来診療のご案内

2021年 5月20日現在 (※)…非常勤医師

診療科		曜日	月	火	水	木	金
内科・消化器内科			貫陽一郎/山本翔太	野坂佳愛	貫陽一郎	野坂佳愛	山本翔太
内科・呼吸器内科			川口貴子(※)(午前)				花香哲也(※)(午前)
内科・循環器内科			金子武生/野田裕剛	金子武生/福壽亮仁	安田潮人	辛島詠士	辛島詠士/有馬岳史
禁煙外来(午後・予約制)					金子武生		
内科・腎臓内科				坂井尚二	吉水秋子	坂井尚二 午後:吉村潤子(※)	前田大登(※)
内科・血液内科				久保安孝		久保安孝	
内科 リウマチ膠原病内科			大田俊一郎 甲斐達也(※)(午前)	大田俊一郎 (地域連携室紹介のみ)	大田俊一郎 真弓武仁(※)(午後予約のみ)	福元遼(※)(午前)	大田俊一郎
糖尿病内分泌代謝内科(午前中)				伊奈雄二郎 (糖尿病内科のみ)	伊奈雄二郎 (午前 糖尿病内科のみ)	伊奈雄二郎 (糖尿病内科のみ)	
神経内科(午前中・予約制)					本田真也(※)		
精神科					原正吾(※)		
心臓血管外科				上野安孝/松山翔		上野安孝/栗栖和宏	
外科	午前		石光寿幸/宮竹英志 川地眸	石光寿幸 中原千尋	大谷和広 宮竹英志	田村徹郎	石光寿幸 大谷和広
	午後		院長外来(院外紹介)/宮竹英志	乳腺外来 石光寿幸	大谷和広	ストーマ外来(第2・第4)	乳腺外来 石光寿幸 大谷和広
			乳腺外来 川地眸(地域連携室紹介のみ)	中原千尋			田村徹郎
呼吸器・感染症外来(呼吸器外科)			吉田順一(要相談)	吉田順一(要相談)	吉田順一(要相談)	吉田順一(要相談)	吉田順一
呼吸器腫瘍センター(呼吸器外科)				井上政昭		井上政昭/橋本鉄平	井上政昭(予約のみ) 名部裕介
脳神経外科			中村隆治/尾中貞夫	中村隆治/桶谷英司	中村隆治/尾中貞夫		中村隆治/尾中貞夫 桶谷英司(午後)
整形外科	再診		大崎祐一郎/木戸麻理子	太田浩二/井上逸人	山下彰久(午前) 江崎克樹	原田岳/橋川和弘	渡邊哲也/岸川準 白澤建藏(※)
	新患		太田浩二	渡邊哲也 江崎克樹	山下彰久(午後) 原田岳/岸川準	山下彰久(午前) 大崎祐一郎	橋川和弘 白澤建藏(※)(午前)
診療科	一診(初診)		原宏二	藤井央法	吉弘悟	藤井央法	吉弘悟
	二診(予約のみ)		藤井央法	吉弘悟	藤井央法	吉弘悟	原宏二
眼科			石村良嗣(午前中)	石村良嗣(午前中)	石村良嗣(午前中)	石村良嗣(午前中) ロービジョン外来(第4午後)	石村良嗣(午前中)
放射線診断科				山砥茂也			
放射線治療科			有賀美佐子	有賀美佐子	有賀美佐子	有賀美佐子(午前のみ)	有賀美佐子
小児科	小児科						
	午前 予約制			河野祥二(※)			
	午後 予約制			河野祥二(※)	河野祥二(※)	河野祥二(※)	大賀由紀(※)(不定期)
小児外科					綿野友美(※)(不定期)		
産婦人科	午前(一般外来)		前田博敬(第1・第3・第5) 川崎憲欣(※)(第2・第4)	前田博敬	前田博敬	前田博敬	
	午後(更年期外来)			前田博敬(予約のみ)			
疼痛外来			藤原義樹		藤原義樹		藤原義樹
ペインクリニック内科							門脇史宜(※)
皮膚科			内田寛 午後の外来は13~14時受付	内田寛	内田寛 午後の外来は13~14時受付	内田寛 午後:手術	内田寛 午後の外来は13~14時受付
耳鼻咽喉科			平俊明 伊藤彩(※)	平俊明 木田裕太郎	平俊明 伊藤彩(※)	平俊明 木田裕太郎	平俊明 木田裕太郎
歯科・歯科口腔外科			上原雅隆 細井俊輔	上原雅隆/細井俊輔 長畑佐和子	上原雅隆/細井俊輔 入学陽一(※)(予約のみ)	上原雅隆/細井俊輔 長畑佐和子	上原雅隆 細井俊輔
緩和ケア外来				牧野一郎(午前中)(予約制)		関千尋(午前中)(予約制)	
救急科(午前・午後)			中原千尋	尾中貞夫	中原千尋	中原千尋/尾中貞夫	中原千尋

- ◆糖尿病教室(要予約:内科外来にお問い合わせください。)
- ◆ペースメーカー外来(内科外来:要予約) 毎月第3月曜日13:00~15:00(第3月曜日が休日の場合は第4月曜日)
- ◆ロービジョン外来(眼科外来:要予約) 視覚に障害があるため生活に何らかの支障を来している方への支援
- ◆整形外科は再診・新患ともに完全予約制です。急患はご相談ください。

病院の最新情報は
こちらから



地方独立行政法人
下関市立市民病院
SHIMONOSEKI CITY HOSPITAL

〒750-8520 下関市向洋町一丁目13番1号
TEL:083-231-4111(代表) FAX:083-224-3838
ホームページアドレス <https://shimonosekicity-hosp.jp/>
地域連携室(紹介予約) 専用TEL:083-224-3860 専用FAX:083-224-3861



禁煙外来を行っています。当院は敷地内禁煙です。ご協力をお願いします。